

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2020年11月号 VOL.131.

2020年11月10日(水)(公財)全国里親会

◆全国里親会◆

◆会長会議&研修会を開催

全国里親会は「令和2年度第1回会長会議&研修会」を10月26日(月)~27日(火)東京・永田町の衆議院第一議員会館大会議室で開催しました。今回はコロナ禍のなか、非接触検温器による体温チェック、マスク着用のお願ひ、アルコール消毒、1席ずつ空けての着席など、対策を講じました。また、初の試みとして会場への参加以外にオンラインでの参加も行いました。

会長会議に先立って、表彰セレモニーが行われました。表彰セレモニーは通常であれば全国里親大会で行われるものですが、今年はコロナの影響で中止となったため、この機会に行われました。厚生労働大臣による表彰(39組73名)、感謝状(55組103名)。また全国里親会会長表彰(64組121名)、感謝状(6組10名)が贈呈されました。

続いて河内会長による情勢説明、事業報告、決算報告、事業計画、予算概要の説明がありました。

その後の研修会では、税理士高宮徹氏による「里親と税理のまなび」、次いで草間吉夫氏による「児童福祉法改正から今日の里親支援」の講演。

翌日は各地からの情報発信として、北海道ブロック、関東甲信越静岡ブロック、東海北陸ブロック、四国ブロックからの発表がありました。

◆令和2年度第2回里親制度研修講座を開催

会長会議&研修が終了した2日目の午後、同会場で一般公開の「里親制度研修講座」が行われ、約120人の参加があり、またオンラインの参加が90人おりました。国会議員の参加も多く見られました。

全国里親会会長の河内美舟のごあいさつの後、来賓の厚生労働副大臣の三原じゅん子様、衆議院議員で元文部科学大臣の河村建夫様、衆議院議員で児童の養護と未来を考える議員連盟会長の塩崎恭久様からごあいさつをいただき、厚生労働省子ども家庭局長の渡辺由美子様による行政説明、参議院議員元厚生労働副大臣の高階恵美子様による講演「こどもの心とからだの健康&家庭養育」。その後、「里親養育と子どもの権利」と題して、議員、里親、当事者などによってシンポジウムが行われました。

◆助成◆

◆七五三助成

全国社会福祉協議会はジェイ・ストーム(レコード・映画制作)の寄付によって、里親家庭、ファミリーホームなどの子どもたちに、豊かな育ちと成長を

願って七五三のお祝い費用の一部を助成します。

委託されている子どものうち、令和2年に七五三(7歳・5歳・3歳)の子どもを祝う行事(助成対象になるのは記念写真、記念行事の費用、食事、お祝い品購入費など。通常の生活費などは対象になりません)。子どもたちに楽しいひと時の思い出をぜひ。

子ども一人に30,000円を限度に助成。申請は12月25日(金)まで(当日消印有効)。問い合わせ先は全国社会福祉協議会児童福祉部「ジェイ・ストーム助成事業」まで(電話03-3581-6503)。

◆ランドセル寄贈

来年4月の新入生を対象に贈られるランドセルに全国から昨年を上回る204個の申し込みをいただきました。現在ランドセルをご寄贈いただく株式会社セイバン様と子どもたちが希望するカラーについて調整中です。しばらくお待ちください。毎年12月にランドセル贈呈式が開催されており子どもたちに手渡されています。その場で(株)セイバン様へ河内会長より感謝状をお渡ししています。(今年は新型コロナウイルスの影響により贈呈式の開催については中止です)

◆厚生労働省◆

◆性的虐待の実態調査を計画

厚生労働省は、児童相談所に通告があった心理的、身体的虐待などのうち、後にあきらかになった性的虐待についても事例の実態調査を始めました。性的虐待への児相の対応に焦点を絞った国の調査は初めてです。全国220の児相を対象とし、子どもが性的虐待も受けていたのに通告受理後、すぐ被害を把握できず、その後の面談などで確知した事例の報告を求める、としています。

◆その他のお知らせ◆

◆第7回日本フォスターケア研究大会開催

12月19日(土)13時から、オリンピック記念青少年センター(東京・渋谷区)で「第7回日本フォスターケア研究大会」を開催します。新型コロナウイルス感染防止対策上会場で行えない場合はZOOMオンラインで実施します。最初からオンラインでの参加も可能です。

基調講演は白井千晶氏(静岡大学人文社会科学部教授)による「誰もが活躍する社会と里親制度・共働き里親家庭を応援するために」。

参加費は3000円(学生2000円、オンライン参加1000円)。

お問い合わせはメール jafca1502@gmail.com

FAX 055-225-6553